

学生活動等



- ・ 応援奨学生決定通知書交付式を実施
- ・ 岐阜県新酒鑑評会において岐阜大学大学院の学生が岐阜大学長賞の選考を実施
- ・ 本学学生がVR/ARの国際大会で大賞を受賞
- ・ 本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2023」で優秀賞(2位)等を受賞
- ・ 本学教育学部附属小中学校の特別支援学級生徒の絵をあしらった手提げ紙袋を作成
- ・ 本学学生チームが「愛知県大学対抗ハッカソン "HackAichi+ 2023"」で最優秀賞等を受賞
- ・ 岐阜大学フォーミュラレーシングが「学生フォーミュラ日本大会2023」において総合3位を獲得
- ・ 本学学生チームがVR大会「IVRC2023」において複数の賞を受賞
- ・ 岐阜大学環境サークルG-ametが複数の大会で賞を受賞
- ・ 「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催
- ・ 本学学生チームがプログラミング作品の制作大会「技育CAMPアドバンスVol.4」において大賞を受賞
- ・ 学生の提案で「丸亀シャカシャカ揚げうどん」が商品化



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

応援奨学生決定通知書交付式を実施

【概要】

令和5年4月10日（月）、令和5年度岐阜大学応援奨学生に対し決定通知書交付式を行いました。

岐阜大学では、平成22年度から"岐阜大学基金"による事業の一環として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となる学生に奨学金を支給することにより、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に、応援奨学生の制度を実施しています。今年度は24名が選ばれました。

交付式では、吉田学長から通知書が手渡され、「岐阜大学基金の支援事業の趣旨を十分理解し、さらに勉学に励み、有意義な学生生活を送ってもらえることと期待しています。」と挨拶があり、杉山副学長からは本事業の原資となる岐阜大学基金についてスライドを使った説明がありました。

応援奨学生を代表して太田 己琴さん（医学部看護学科 3年）は、「いただいた奨学金を最大限有効に活用し、これからも学業に専念していきたいと思います。」と抱負を述べました。

今後も岐阜大学は、学生の学業を応援し、優れた人材を育成していきます。



決定通知書交付を受ける学生



挨拶をする吉田学長



学生と関係者との集合写真

岐阜県新酒鑑評会において岐阜大学大学院の学生が 岐阜大学長賞の選考を実施

【概要】

第30回岐阜県新酒鑑評会において、岐阜大学大学院自然科学技術研究科の学生が岐阜大学長賞の選考を行いました。

岐阜県新酒鑑評会は岐阜県にある蔵元が新酒の出来栄を競うものです。岐阜大学の敷地内には岐阜県食品科学研究所があり、2019年より学生を対象とした清酒醸造実習が実施されていることから、実習修了生を審査員とする岐阜大学長賞が創られました。

選考を行った学生からは、「学生が岐阜の日本酒を評価することに緊張しましたが、醸造実習で学んだ官能評価基準を基に若者も飲みやすい日本酒という基準で評価させていただきました。」という感想が聞かれました。

令和5年4月12日（水）にはホテルグランヴェール岐山において表彰授与式が行われ、学長から表彰状を授与しました。

岐阜大学はこれからも地域と共に岐阜を盛り上げていきます。



選考の様子



授与式での集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/4/13	岐阜	県新酒鑑評会 県知事賞に4点選出 ～ 大学院2年 山本明日香さん ～
2023/4/13	中日	新設・岐阜大学長賞など表彰 県新酒鑑評会, 岐阜で36点 ～ 大学院2年 山本明日香さん ～

本学学生がVR/ARの国際大会で大賞を受賞

【概要】

2023年4月12日（水）～16日（日）にフランスで開催されたVR/ARの国際大会「Laval Virtual」において、自然科学技術研究科1年 小木曾 直輝さん、阪井 啓紀ひろきさん、酒井 康希さんが製作した、VR作品「MEcholocation」が大賞

（ReVolution #Research部門）を受賞しました。「Laval Virtual ReVolution #Research」は、フランスで毎年行われる、VR/ARを「研究」の観点から取り上げたコンペティションです。

「MEcholocation」とは、コウモリやイルカなどの動物が持っていることで知られているエコロケーション（音の反響を頼りに物の位置や形を認識する能力）を、VR空間で舌打ち音の反響を視覚化することで疑似体験できる作品です。本作品は、工学部 木島 竜吾 准教授が担当する講義「情報工学実験3」において製作し、その後改良を加えたものです。学生たちは、「見えない」という一見するとネガティブな体験を、見えない"のに"歩けた、座れた、触れた、という不思議で夢中になれるものへと昇華させたいという思いでこの作品を製作しました。

5月16日（火）には、学生3人と指導教員の木島准教授が学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。代表の小木曾さんは「VR作品の製作で得た技術を応用して今後新たなものを開発していきたい」と話しました。吉田学長からは「今回の独創的なアイデアを活かし社会に役立てられるよう、今後の新たな挑戦にも期待しています」と激励しました。



受賞報告の様子



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/5/17	中日	舌打ち音を可視化 暗闇の空間を把握 岐阜大院生3人 VRの国際大会で大賞 「視覚障害者の差別なくす契機に」 ～自然科学技術研究科1年 小木曾直輝さん、阪井啓紀さん、酒井康希さん～
2023/5/20	岐阜	岐阜大院生3人 国際コンペ大賞「新たな技術を作れた」 舌打ち音を視覚化、VRで「反響定位」体験 ～自然科学技術研究科1年 小木曾直輝さん、阪井啓紀さん、酒井康希さん～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2023/5/16	NHK岐阜 「まるっと! ぎふ」 18:30～19:00	フランスで開催されたVR/ARの国際大会「Laval Virtual」で大賞（ReVolution #Research部門）を獲得。吉田学長へ報告する様子を紹介 自然科学技術研究科 1年 小木曾 直輝さん、阪井 啓紀さん、 酒井 康希さん 工学部電気電子・情報工学科 木島 竜吾 准教授

本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2023」で優秀賞(2位)等を受賞

【概要】

令和5年6月17日(土)に行われましたTongaliビジネスプランコンテスト2023において起業部に所属する本学学生4チームが優秀賞(2位)等を受賞しました。

Tongaliビジネスプランコンテストは、東海地域(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県)のすべての大学の大学生・大学院生を対象とし、大学発ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたコンテストです。

6月29日(木)には、受賞チームの代表者が学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。受賞者からはコンテストで披露したビジネスプランの報告があり、「来月には登記を行う」など今後の見通しを学長に伝えました。吉田学長からは、受賞チームへのアドバイスと激励がありました。

〔受賞メンバー〕敬称略

- ・優秀賞(2位)、サポーター賞(大和証券賞、三菱商事賞、JR東海賞、トランコム賞)、愛知県賞、オーディエンス賞
チーム名: Umai Japan
テーマ: 農作物ブランド「Umai」のサプライチェーン構築
応用生物科学部3年 杉本 稜太、応用生物科学部3年 伊藤 思音
- ・Tongali賞(3位)、サポーター賞(OKB賞)
チーム名: LiemPia
テーマ: clemy ～私を賢くするアプリ(clever me)～
教育学研究科2年 西垣 快眞、自然科学技術研究科1年 酒井 康希
- ・Tongali賞(5位)
チーム名: TradeWind
テーマ: 日本が世界に誇るカードゲーム文化を未来に続く形に
工学部3年 小林 功英、工学部3年 小和田 仰生
- ・サポーター賞(BNV賞)
チーム名: bybanana
テーマ: バナナパウダー革命: バナナの可能性を最大化し、社会的変革を起こす
応用生物科学部3年 伊藤 思音、応用生物科学部3年 杉本 稜太



受賞報告の様子



集合写真

～学生活動等～

本学学生チームが「Tongaliビジネスプランコンテスト2023」で優秀賞(2位)等を受賞

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/6/30	中日	岐阜大起業部4チーム 上位入賞 東海の学生ビジネスコンテスト ～ 「Tongaliビジネスプランコンテスト2023」【優秀賞】応用生物科学部3年 杉本稜太さんらのグループ～
2023/7/3	岐阜	岐阜大チーム準優勝 東海学生ビジネスプランコンテスト 学長に喜び報告 ～ 吉田和弘学長, 応用生物科学部3年 杉本稜太さん, 自然科学技術研究科1年 酒井康希さん, 工学部3年 小林功英さん, 応用生物科学部3年 伊藤思音さん～

本学教育学部附属小中学校の特別支援学級生徒の 絵をあしらった手提げ紙袋を作成

【概要】

本学教育学部附属小中学校の特別支援学級の生徒の絵をあしらった手提げ紙袋を作成しました。

これまでも本学では、特別支援学級の生徒さんに役員の名刺を作成していただいたり、生徒さんの制作製品をイベントや来客時に手渡すグッズとして活用しています。

このたびは、イベントや来客時によく使用する手提げ紙袋用の図柄の制作を特別支援学級の生徒さんに依頼しました。制作された紙袋の図柄は、鳥や昆虫、自然などの絵をあしらったものとなっています。

令和5年9月27日（水）に、手提げ紙袋の図柄を提供いただいた特別支援学級7～9年生を大学にお招きし、感謝状贈呈式を行いました。学長からは「素晴らしい絵を描いてくれてありがとうございます。思いの詰まった絵だということを感じながら見させていただきました」と感謝の気持ちを伝えました。生徒さんからは「いろいろな色を使ったり、立体的になるように頑張って描いた」「多くの人に見てもらい、喜んでもらいたい」等のお話がありました。



集合写真



作成した手提げ紙袋

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/9/28	中日	特支生のイラスト手提げ袋に 岐阜大付小中 同大で来客に配布 ～ 教育学部附属小中学校9年 宮崎葵さん、吉田和弘 学長 ～
2023/9/30	岐阜	紙袋に生き物いっぱいデザイン 大学で活用 岐阜大付小中校の特支学級生 鳥や虫、カラフルに ～ 教育学部附属小中学校9年 宮崎葵さん、吉田和弘 学長 ～

本学学生チームが「愛知県大学対抗ハッカソン "HackAichi+ 2023"」で最優秀賞等を受賞

【概要】

令和5年8月7日（月）～9月9日（土）に行われた「愛知県大学対抗ハッカソン "HackAichi+ 2023"」に出場した本学学生チームが最優秀賞等を受賞しました。

ハッカソンとはソフトウェアのエンジニアリングを指す「ハック」と「マラソン」を組み合わせた造語で、ITを活用して新たなサービスや製品等の開発を競い合うイベントです。

本学学生チームはハッカソンにおいて、新入社員や実習生への技術継承の場面での標準化を目指すことを目標に、IoTとAIの技術を用いて、熟練者の工具の使い方を定量化し、熟練者と新入社員や実習生との道具の使い方を比較することにより、新入社員や実習生が上手く道具を使えるようになるデバイス・システムを提案しました。

9月29日（金）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による吉田学長への報告会が行われました。

ハッカソンに出場した学生は、「コツが必要だが言葉で伝えにくいことを可視化でき、同じように見える作業も可視化すると実施者によって全然違うことが分かり驚いた。今回出来たことを後輩に伝え、さらに後輩が進んだことをしてほしい」と述べ、吉田学長は、「課外活動で期間も決まっているという限られた時間の中でも解決策を提示できていることに岐阜大学として誇りに思います」と称えました。



学長報告の様子



集合写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/9/30	中日	岐阜大工学部チーム最優秀 製造業 新人への技術継承手助け 「ハッカソン」で課題解決のシステム開発 ～ 吉田和弘 学長、工学部機械工学科4年 中谷尚生さん、古田雄大さん、矢野凌羽さん、高橋篤史さん ～
2023/10/1	岐阜	岐阜大チームが最優秀賞 岐阜、愛知の大学対抗IT活用大会 工学部4人 工具の使い方支援 ～ 吉田和弘学長、工学部機械工学科4年 中谷尚生さん、古田雄大さん、矢野凌羽さん、高橋篤史さん ～

岐阜大学フォーミュラレーシングが「学生フォーミュラ日本大会2023」において総合3位を獲得

【概要】

令和5年8月21日（月）～9月2日（土）にオンライン及び小笠山総合運動公園（静岡県袋井市）で行われました「学生フォーミュラ日本大会2023」において、本学学生チームが過去最高となる総合3位を受賞しました。本大会は、学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競う大会です。

10月30日（月）には、学生3人と指導教員の菊池准教授が吉田学長を訪問し、受賞の報告を行いました。学生からは「昨年の大会では振るわなかった動的審査で良い成績を出すことが出来た。培った知識を後輩に引き継いでいき、ゆくゆくはトップを目指せるチーム作りをしたい」と話しました。吉田学長からは「メンバーや資金、学生フォーミュラに取り組める環境などに限りがある中で3位をとれるということはすばらしいし、技術の伝承や東海地区のものづくりを若い人が意識していることに感動した。今後の優勝を期待しています」と激励しました。



作成した車体



記念写真

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/11/7	中日	岐阜大のレーシングサークル 学生全国3位 最高の走り 設計見直す/部品精度向上 ～レーシングサークル「岐阜大学フォーミュラレーシング」～

本学学生チームがVR大会「IVRC2023」において 複数の賞を受賞

【概要】

本学学生チームが、11月18日（土）～19日（日）にかけて開催されたVRの大会「IVRC2023」において、岐阜の伝統行事「鶺鴒」を題材にしたVR作品を披露し、複数の賞を受賞しました。IVRC(Interverse Virtual Reality Challenge)とは、学生を中心としたチームでVR作品等を企画・制作するVR大会の名称で、日本VR学会が主催するイベントです。

学生チームは、岐阜の伝統行事「鶺鴒」を多くの人に楽しく知ってもらいたいという思いから、鶺鴒の鶺になることができるという新たな発想を取り入れ、本作品を制作しました。長良川うかいミュージアムを訪れ、鶺匠による鶺鴒実演の様子を見学しながら詳しい説明を聞き、また、実際に観覧船に乗って鶺鴒を間近で体験するなど、取材に基づいて制作を行い、よりリアルな体験ができるようこだわりました。本作品では、はじめに体験者が椅子に座ってお辞儀をすることで、VR空間の水中に潜って鮎を探することができます。その後、鮎を見つけて鮎が光ったタイミングで体を起こし、頭を上に向けて鮎を捕まえることができます。この時、鶺のくちばしを模した装置によって捕まえられた鮎が暴れる感覚を再現し、首に着けた装置によって鮎を飲み込んだかのような感覚を体験することができます。

今回の受賞の一つ「Laval Virtual Prize」によって学生チームは、2024年4月にフランスで開催されるVR/ARの国際大会「Laval Virtual」への招待出展が決まり、世界の舞台上で日本の伝統行事体験を披露します。

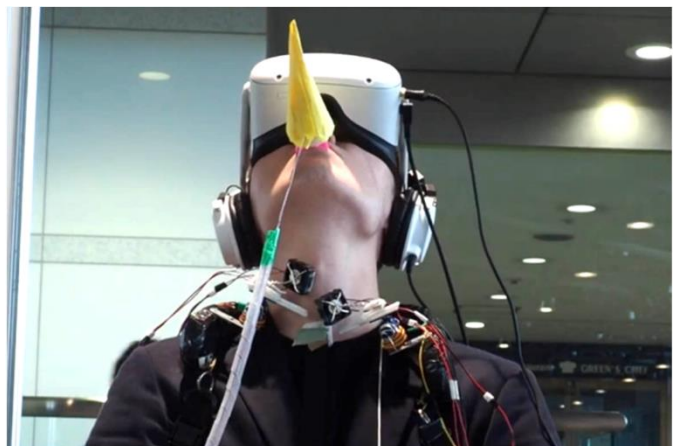
12月13日（水）には、今回の受賞について学生チーム及び指導教員が吉田学長へ報告を行いました。

チーム代表の藤嶋さんは、「今回の受賞によって来年4月には、岐阜の長良川のように川があるフランスのLaval市でこのVR作品を出展します。私たちの作品を通じて、世界中の方々に鶺鴒の文化を楽しく知っていただくために、作品を更にブラッシュアップさせて、フランスの大会に臨みます」と今後の展望を語りました。吉田学長からは、「鶺鴒の鶺になることができるという発想がとても面白い。ぜひ長良川うかいミュージアムさんと連携しながら、岐阜の伝統文化である鶺鴒を楽しく紹介してほしい。フランスでの大会もがんばってください」と激励しました。

本学は引き続き、地域の伝統文化を世界へ広める活動に取り組む学生たちを応援していきます。



記念写真



鶺が鮎を捕まえる体験をしている様子

本学学生チームがVR大会「IVRC2023」において複数の賞を受賞

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/12/16	中日	岐阜大生、アユ丸のみ体験をVRに リアリティ追及 鵜になりきって 来年4月国際大会に出場 ～ 工学部電気電子・情報工学科4年 藤嶋駿輔さん、早崎雅人さん、藤井俊輔さん、星野想空さん～
2023/12/22	朝日	鵜に変身 川潜りアユごくり VRで疑似体験 岐阜大生が作品 ～ 工学部電気電子・情報工学科4年 藤嶋駿輔さん、早崎雅人さん、藤井俊輔さん、星野想空さん～
2023/1/28	岐阜	鵜なりきり鮎を丸のみ 岐阜大生がVR作品 暴れて喉通る刺激再現 ～ 工学部電気電子・情報工学科4年 藤嶋駿輔さん、早崎雅人さん、藤井俊輔さん、星野想空さん～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2024/1/10	NHK岐阜 「まるっと! ぎふ」 18:30～19:00	工学部学生チーム「鵜匠」が制作した、岐阜の伝統行事「鵜飼」を題材にしたVR作品について紹介 工学部 電気電子・情報工学科4年 藤嶋駿輔さん、早崎雅人さん、藤井俊輔さん、星野想空さん

岐阜大学環境サークルG-ametが複数の大会で賞を受賞

【概要】

岐阜大学環境サークルG-amet（ジャメット）が、サステイナブルキャンパス推進協議会（CAS-Net JAPAN）2023年次大会およびASCN（アジア・サステイナブルキャンパス・ネットワーク）2023年次大会において複数の賞を受賞しました。

●サステイナブルキャンパス賞2023

学生活動部門 奨励賞：「岐阜大学植物マッププロジェクトの取り組み ～ミドリイロノジンセイを目指して～」

特別賞：表彰式の受賞講演において最も優れたプレゼンテーションに贈られる賞

●ASCN 2023年次大会

LIFE ON LAND PRIZE：「キャンパス植物マッププロジェクト」の活動発表

12月13日（水）には、環境サークルG-ametの学生11名が学長室を訪れ、吉田和弘学長に受賞の喜びとサークルの活動内容について報告しました。

受賞した学生は「私たちの植物マッププロジェクトの活動を評価いただき、大変嬉しく思っています。SNSを用いた植物の情報発信や植物観察イベントの開催などを引き続き行い、植物の楽しさや面白さを多くの方に伝えることを目指してこれからも活動していきたい」と語りました。吉田学長からは「この取り組みを後輩たちへ引き継ぎ、さらにサークル活動を進化させていってほしい」と激励の言葉を述べました。

岐阜大学は、今後も環境に配慮した活動を推進し、サステイナブルなキャンパスの実現を目指します。



サステイナブルキャンパス賞2023表彰式の様子



学長報告時の集合写真

「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催

【概要】

本学は、教育学部附属小中学校の児童生徒を対象に「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催しました。

このコンクールは、十六銀行と締結した環境保全における連携に関する覚書の一環として、SDGsについて考え、省エネ、環境美化運動やごみ減量など身近な視点から、エコ活動を啓発する目的で実施したものです。

ポスターの募集企画は13回目、厳正な審査の結果、最優秀賞、優秀賞、十六フィナンシャルグループ賞各1作品を決定しました。

12月14日（木）には、本学学長室にて受賞作品の表彰式を行いました。表彰式では、受賞した児童生徒一人一人に吉田学長より表彰状が、十六銀行の杉野常務執行役員より副賞が手渡されました。吉田学長からは「すばらしい作品ばかりでした。今回の作品に込めた思いを、普段の活動でも心がけ、また、その活動をまわりの人々にも広めてほしい」、杉野常務執行役員からは「どの作品も見てわかりやすいポスターでした。こうしたエコ活動によってみなさんがさらに成長されるのを楽しみにしている」と言葉がかけられました。これを受け、丸山附属小中学校統括校長は「児童生徒たちの視点で環境を見つめ、表現できているところが良かったと思います。この取り組みを通して、児童生徒の主体的な学びの場を得られたことに感謝し、今後もこの学びを継続して行ってほしい」と述べられました。

また、最優秀賞を受賞した7年生の林怜永さんは「エコ活動啓発ポスターによって、一人ひとりが大切なことを伝えていきたい」と思いを語りました。

受賞作品はこれまで本学の図書館に展示され、地域の方も含め多くの方にご覧いただきました。今後は、十六銀行加納支店で令和6年1月9日（火）～19日（金）、十六銀行岐南支店で令和6年1月22日（月）～2月2日（金）の期間展示する予定です。

本活動が環境について考えるきっかけとなり、エコ活動が広がっていくことを期待しています。



受賞した児童・生徒との記念撮影

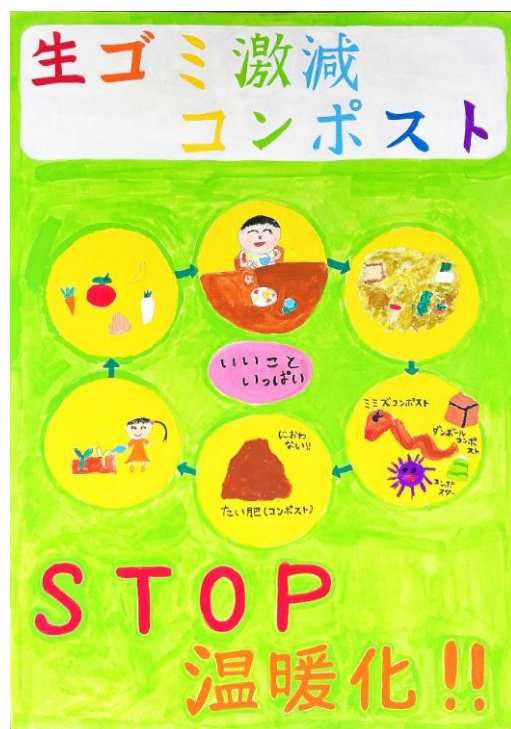
「考えようSDGs！エコ活動啓発ポスターコンクール」を開催

受賞作品

■最優秀賞



■優秀賞



■十六フィナンシャルグループ賞



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/12/19	岐阜	エコ啓発ポスター 入賞者3人を表彰 岐阜大付小中と十六銀 ～教育学部附属小中学校7年 林怜永さん～

本学学生チームがプログラミング作品の制作大会 「技育CAMPアドバンスVol.4」において大賞を受賞

【概要】

本学学生チームが、最新のAIを用いた声質変換Webサイト「AIずんだWeb」を制作し、2023年12月16日（土）に東京で開催された「技育CAMPアドバンス2023 Vol.4」において大賞を受賞しました。

「技育CAMPアドバンス」は、株式会社サポーターズが主催し、毎月開催している「技育CAMPハッカソン」の受賞者のみが参加可能な上位の大会です。ハッカソンとは、ハック（hack）とマラソン（marathon）を組み合わせた造語で、エンジニアを目指す学生たちが短期間で集中してプログラミング作品等の開発を競い合うイベントです。11月に開催されたハッカソンにおいて本学学生チームは最優秀賞を勝ち取り、このたびの上位大会に臨みました。

学生チームは、誰でも手軽に声質変換を利用して楽しんでもらえるようにするため、Web上で録音ボタンを押して自分の声を録音するだけで任意のキャラクターの声質に変換することができる画期的なサイト「AIずんだWeb」を開発しました。

1月18日（木）には、今回の受賞について学生チーム及び指導教員が吉田学長へ報告を行いました。

チーム代表の中尾さんは、「チームとして短い開発期間の中で一つの作品を制作することの難しさやチームマネジメントの重要性を感じました。このAI声質変換が普及していくことで、知識のない一般の方にも私たちが開発した技術を体感してほしい」と述べました。その場で実際に声質変換を体験した吉田学長は、「自分が発言した声の抑揚までそのまま変換されていて驚きました。ぜひこのような素晴らしい技術を応用して、病気によって声を失ってしまった人でも自分の声のように発音することができるサービスの開発などにつなげていってください」と期待を寄せました。

これからも本学は、新たな可能性に挑戦し続ける学生たちを応援し、更なる成果と技術の発展を期待しています。



学長報告の様子



記念写真

～学生活動等～

本学学生チームがプログラミング作品の制作大会「技育CAMPアドバンスVol.4」
において大賞を受賞

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2023/1/19	岐阜	岐阜大4人が大賞 技術者目指す全国の学生「技育CAMP」 AI活用 声質変換アプリ制作 ～ 工学部電気電子・情報工学科 中尾元紀さん ～
2024/1/23	中日	声の変身 アプリで簡単 岐阜大生4人が開発 全国大会大賞 ～ 工学部電気電子・情報工学科 4年 中尾元紀さん、伊藤伸さん、板谷幸四郎さん、土田裕登さん ～

【テレビ等放送】

放送日等	番組名	内容
2024/1/19	チャンネルCCN エリアトピックス715	学生チーム「ずんだ」の学長への受賞報告の様子を紹介

学生の提案で「丸亀シャカシャカ揚げうどん」が商品化

【概要】

2022年に開催された「第2回トリドール持続可能ビジネスコンテスト」で、本学社会システム経営学環の大橋茉実さんと與川美佑さん（1期生：3年生）が、食品ロス削減に向けた商品「丸亀シャカシャカ揚げうどん」を提案しました。この商品は、令和6年2月27日（火）から岐阜・埼玉県内の2店舗で限定販売されています。

「トリドール持続可能ビジネスコンテスト」は、トリドールホールディングスが主催し、ビジネスにおける社会課題の解決と利益追求の両方を持続することが可能な企画を学生が提案するコンテストです。本学の学生は、食品ロス削減を目的として、規格外となったうどんを使用した商品の提案を行いました。その提案が評価され、2023年2月から実現化に向けたプロジェクトがスタートしました。学生は丸亀製麺の協力を得ながら、試作を重ねて商品開発に取り組み、このたび商品化が実現しました。

「丸亀シャカシャカ揚げうどん」は、きなこ味とのり塩味の2種類があります。フレーバーをかけてシェイクすることで、全体に味が均等に広がり、一層の風味を楽しめます。価格は240円（税込）で、岐阜県では、丸亀製麺岐阜東店で限定販売されています。

今回、本商品の企画から商品化まで携わった本学社会システム経営学環の大橋さんと與川さんからは、「本商品を多くの人に楽しんでいただきたい、うどんの新食感・新しい食べ方について知ってほしい、という想いを込めて企画しました」「幅広い年齢層に受け入れられるような商品にするために、多くのミーティングや試食を重ねながら開発しました」「この「丸亀シャカシャカ揚げうどん」をきっかけに、沢山の方に笑顔の輪が広がることを願っています」などのコメントが寄せられました。

本学は、これからも持続可能なビジネスと地域社会への貢献を目指す学生の取り組みを応援し、さらなるイノベーションを生み出すことに期待しています。



【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/3/22	中日	丸亀製麺 規格外活用し販売 カリッとやみつきシャカシャカ揚げうどん 岐阜大生のアイデア基に商品化～社会システム経営学環3年 大橋茉実さん、與川美佑さん～